

「つなぐプロジェクト」の関係者等が知事を表敬訪問し、
プロジェクトの成果や木製品のPRを行います

森林・林業基本戦略に基づく「つなぐプロジェクト」は取組開始から4年が経過し、各地域で地元の森林資源を活用した木製品開発や体験イベントなどが展開されています。そのモデルとなったスノービーチプロジェクトの取組や、つなぐプロジェクトの成果と木製品のPRを行うため、関係者が花角知事を表敬訪問します。

記

1 日時

令和8年6月22日（月） 午後3時30分から4時まで

2 会場

新潟県行政庁舎 3階 知事室
（新潟市中央区新光町4-1）

3 訪問者

新潟大学名誉教授 紙谷 智彦 氏
星野林業 代表 星野 宏典 氏
株式会社新潟家守舎 代表取締役 小林 紘大 氏
株式会社フォレストメイク 代表取締役 阪東 亮 氏
株式会社坂詰製材所 顧問 桐生 透 氏
大塚住宅建材株式会社 代表取締役 池田 新太郎 氏
株式会社石田伸一建築事務所 代表取締役 石田 伸一 氏

※知事室に設置した県産材製品及び紹介する各プロジェクトの概要は別紙のとおり

4 取材申込

取材を希望される場合は、別紙「取材申込書」に記載の上、6月19日（金）12:00までに、下記担当宛に提出してください。

本件についての問い合わせ先
林政課県産材振興室長 太田
（直通）025-280-5820 （内線）3013
e-mail:ngt060070@pref.niigata.lg.jp

スノービーチのブナ材で製作されたレク用テーブル

○ブナの木目や色合いが最も美しく見えるよう、プロの手で板の向きや色目が慎重に組み合わされている。 ※R8.4月に知事室に設置

(産地：魚沼市大白川 製作：朝倉家具)



つなぐプロジェクトにより製作された100年杉のサイドテーブル

○均等に詰まった年輪から、長年の丁寧な手入れと100年の歴史を感じることができる。 ※R8.4月に知事室に設置

(産地：阿賀町 製作：新潟家守社)



別紙

snowbeech

スノービーチプロジェクト

豪雪地のブナ林を守り育てて資源を有効活用し、
集落の維持、地域の発展を目指す

森林の管理
・育成



川上～川下の
連携による
地域への貢献



ウッドデザイン賞2015

令和7年度天皇杯
(大白川生産森林組合)



生態デザイン



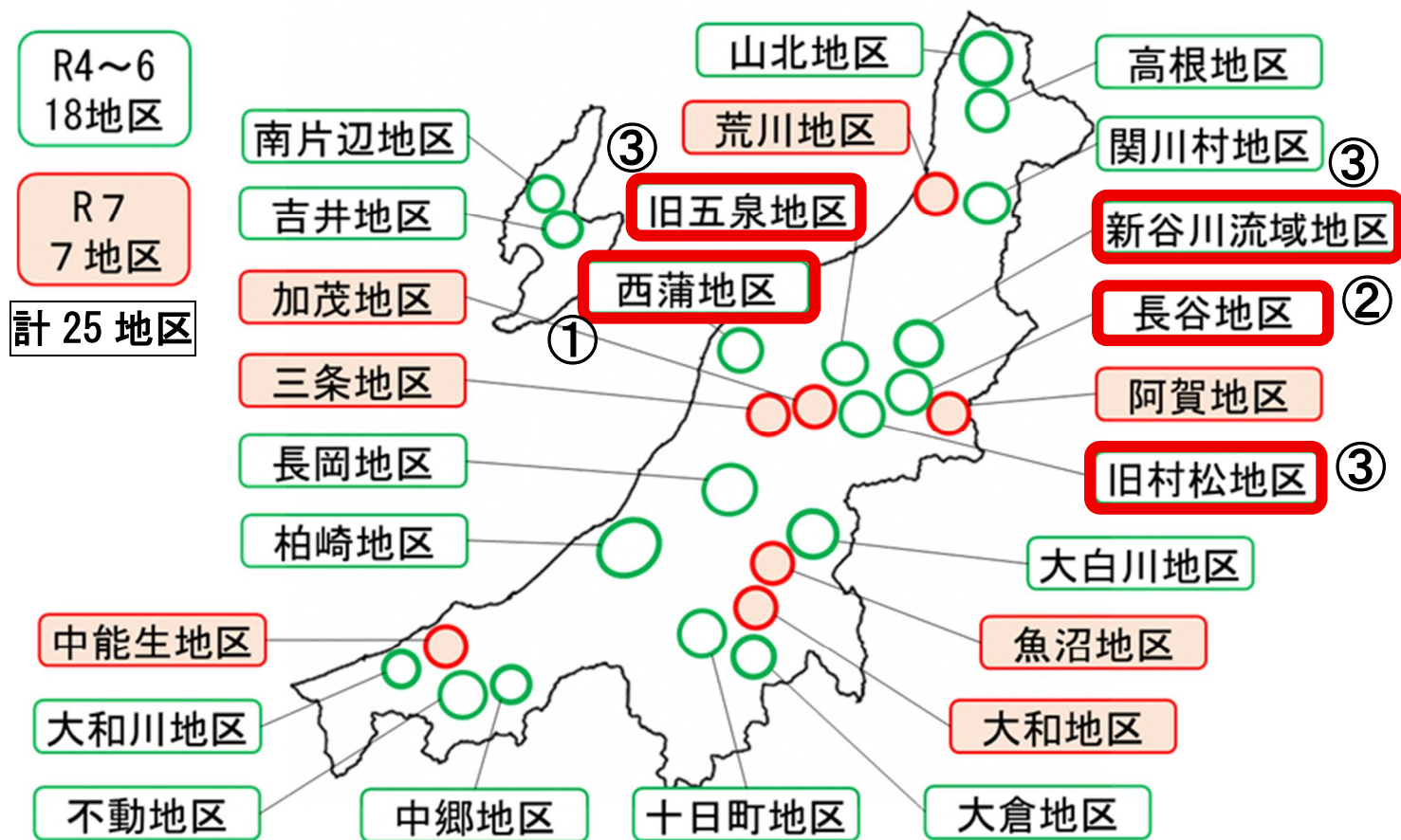
関係人口の増加



つなぐプロジェクトの取組について

- 森林所有者から消費者までをつなぎ、関係者が一体となって県産材の供給・利用拡大に向けて取り組む“つなぐプロジェクト”を全県で展開しています。
- 令和4年に取組が始動してから4年が経過し、県内各地で県産材の特徴を生かしたプロジェクトが展開されています。

令和7年度末までの展開状況



取組の一例



①物語性をもった製品開発・ブランディング



②有数林業地に眠っていた材の有効活用



③工務店等を対象とした地域材利用セミナー

プロジェクトの目指す姿

- 大径材の新たな販路の開拓と高付加価値化
「**100年の歴史を持つ森林**」から「**物語を持つ商品開発**」
- 長谷の森林の新たな魅力創出と発信
様々な世代の森林により**物語を伝えられる森づくり**

星野林業の思い～林業は、未来に成果を託す仕事～

星野林業は6代目から林業に力を入れ始め、現在では下越を中心に約1,100haの森林を経営しています。

大正期から100年あまりの時間と手間をかけて育ててきた思いを形に変えることとしました。

100年の森林をどう生かすか～みんなで検討をスタート～

- R6年、所有林に林業事業体、工務店、木工作家等が集まりその活かし方を検討
- 川上～川下のつながり**が生まれました



100年の森林を伐って生かす(R7～)



伐採



製材所



色見確認



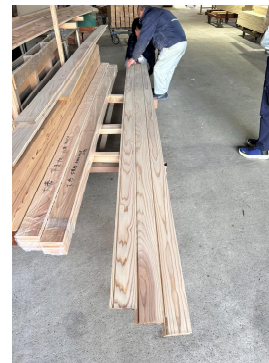
山十場



製材



サイトテーブル



内装材等

今後の展望

- 100年杉の製品化(内・外装材)
- 主伐・再造林ツアーやリーフレットによる川下へのPR

プロジェクトの目指す姿

- 新潟市西蒲地区の森林資源を活用し、川上・川中・川下の連携強化により、西蒲材製品を市場へ供給する。
- 主伐・再造林を推進し、伐って・使って・植える循環型林業の実現により地域林業の維持・継続を目指す。

角田山の「スギ」の歴史





- ・新潟市西蒲区の角田山では、明治中期からスギの植林が始まり、大正期には全国的に知られる林業地「峰岡林業」に。
- ・角田のスギは、林業の隆盛と、先人達の手入れの歴史を伝える貴重な資源です。

市と事業体の連携により森林整備を再開

- ・R1～新潟市が森林経営管理制度により森林所有者の意向を調査。
- ・これを受け、近年、林業事業体による森林整備が本格的に再開。



“NISHIKAN ROOTS”～西蒲の森から生まれる森の恵み～

事業体  地元製材業者  木材建材流通業者

西蒲材のストーリーをPRし製品流通へ



ペンの軸への活用



「あかね材」の合板開発



ブランドロゴの設定

今後の展望

- NISHIKAN ROOTSのブランド、思想の普及・PR
- 需要にこたえるための主伐・再造林に向けた取組